

**エビがゴゴ漁始まる**



上ノ国町沖合でのエビかご漁が1月上旬から始まりました。取材した1月11日は、朝6時頃に出港し、大崎からおおよそ3キロの沖合で4時間ほど漁を行い、ポタンエビやシマエビのほかゴジラエビと呼ばれるガサエビなど約180キロを漁獲。途中で悪天候となったため予定より漁を早く切り上げたそうですが、まずまずの漁獲量だったそうです。

水揚げ後は、種類や大きさごとに選別、箱詰され、翌日の東京豊洲市場でのせりに間に合うように出荷されています。

1月25日現在、漁獲量、市場価格とも昨年並みで推移しており、漁場を移動しながら4月上旬までの豊漁が期待されます。

**家計も助かる**

**わくわく大抽選会**

12月22日から31日までの間、地元の特産品や商品券などが当たる『わくわく大抽選会』の抽選券が商工会に加盟する46事業所で配布されました。

この事業は、町内商店の活性化と町内で製造される特産品のPRを図ろうと上ノ国町商工会（小林恭平会長）が企画したもので、購入千円毎で抽選券1枚が配られました。

1月7日に商工会関係者による厳正な抽選が行われ、約9万件の応募の中から、特賞やわくわく賞など208本が決定しました。

当選商品の引き換えは1月10日から12日までの間で行われ、そのうち特賞の燃油3万円分の当選者は、「まさか当たるとは思っていなかったので家計に大助かりです。」と笑顔を浮かべながら話していました。



商工会では、今後も加盟事業者を中心として賑わいの創出を図り町の経済が活性化する事業を展開していくこととしています。

**スキートの基礎を学ぶ**



1月8日、町スキー連盟（住吉泰文会長）主催のスキー教室が町民スキー場で始まり、幼児から社会人までの28人が受講しました。

この教室はスキー場の積雪不足のため開催が危ぶまれておりましたが、年末年始にまとまった積雪があり、当初の予定通りの開催となりました。

この日は、スキー連盟所属の指導員7人が指導し、参加者は技量ごとのグループに分かれ、それぞれのレベルに応じた指導を受けていました。

また、10日から同スキー場でスノーボード教室も行われ、スキー教室は2月22日までの毎週火・金曜日、スノーボード教室は2月14日までの毎週木曜日に行われます。

**不審船、町内に相次いで漂着**

昨年から全国の日本海沿岸部で不審船が相次いで漂着していますが、町内でも11月5日から12月28日に小砂子から大崎までの海岸線に不審船5艘が漂着しました。

漂着したすべての船体にはハンブル文字が表記されていることから、いずれも朝鮮半島からのものと推定されます。

漂着した不審船は、国の財政支援を受けて4月以降に処分する予定です。

なお、先月も青森県深浦町の沖合で発見された不審船のように、不審船には人が乗船している場合もあるため、発見したときは、近寄らずに沖合にある場合は海上保安庁「118番」、海岸に打ち上げられた場合は、警察「110番」まで通報願います。

